

社会を変えるアイデアを共に紡ごう。

ウェルネスライフスタイルは誰もが「すこやか」な未来の暮らし。
健康につながる「コミュニティ」、生活を支える「プロダクト」
その舞台となる「まち」。若者と、
専門家と行政と企業が
ウェルネスな未来を
探求する。



一般公開
入場
無料

定員200名

※当日受付にて
先着順

学生アイデアコンペティション・パネルディスカッション 2019年11月16日[土]14:00-18:00 [予定]

中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階中之島会館

ゲスト審査員・パネリスト



大阪市立大学学長 / 医学博士
荒川哲男氏

「笑顔あふれる知と健康のグローバル拠点」を大学スローガンに掲げ、キャンパスの笑い声を70dbまで上げるのが目標。2025年大阪・関西万博に学生主導のパビリオン出展を目指している。



プロダクトデザイナー
喜多俊之氏

1969年よりイタリアと日本で制作活動を開始。作品の多くはニューヨーク近代美術館など世界のミュージアムに永久収蔵されている。



株式会社 E-DESIGN 代表
忽那裕樹氏

庭園を初め公園や大学・病院等のランドスケープデザインを国内外で展開。水都大阪のプロデュースやenocoのチーフディレクターを務める他、多数の地域の魅力向上に関わる。



studioL代表 / コミュニティデザイナー / 社会福祉士
山崎 亮氏

建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。

コーディネーター



フリーアナウンサー
八木早希氏

毎日放送アナウンサー、NEWS ZEROキャスターを経てニュースを伝える他、大勢の政治家、著名人へのインタビュー、国内外の取材多数。コミュニケーション等に関する講演活動も行う。

開催概要

長寿・高齢化社会においては、豊かさだけが追求されてきたこれまでの暮らしではなく「健康」「生きがい」「安心・安全」といった要素が最重視されています。この実現には、急速に進展していく技術の活用を含め様々な施策を連携させる総合施策としての取り組みが求められています。住民・自治体・医療/介護業界・産業界を始めとする様々なステークホルダーがお互いの視点とノウハウを融合し合うことが重要であると言われていています。従って、これまで大学間連携が展開してきた社会への提案の場に以下に示す分野のみならず、あらゆる分野の学生のアイデアを一同に集結させることで、相互に刺激し、補完し合いながら「ウェルネスライフスタイル」を検討する場を提供します。さらにこの2019年度大学連携事業は、学生のアイデア発表を一般公開するとともに、企業や行政と共に大阪の未来について議論するためのシンポジウムを開催し、その未来に向けて、学生アイデアを社会実現する事業化モデルの構築を目指すものです。



構成

■学生アイデアコンペティション本選

当日、午前中に実施する予選を通過した提案者が、ゲスト審査員を前に公開プレゼンテーションします。学生の斬新かつ新鮮な視点で社会に問う、「WELLNESS LIFE STYLE」とは。

アーバン デザイン部門

建築/土木・交通/
ランドスケープ
など

プロダクト デザイン部門

インクルーシブデザイン
プロダクト/介護・医療ロボ
など

■話題提供

大阪府が進める「いのち輝く未来社会」をめざすビジョン—10歳若返り事業の推進について—に関する政策などを紹介します。

■パネルディスカッション

学生提案を受け、『WELLNESS LIFESTYLE』をテーマに分野を超えて議論を行います。

■表彰式

学生アイデアコンペティション審査結果を発表し、優秀作品数点について表彰式を行います。

会場・アクセス

中之島フェスティバルタワー
ウエスト4階 中之島会館

〒530-0005大阪市北区中之島3-2-4

■地下鉄/京阪ご利用の場合

京阪中之島線「渡辺橋」駅下車12番出口直結
地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車4番出口直結
地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅下車7番出口
より徒歩5分

■JRご利用の場合

JR「大阪」駅桜橋口より徒歩11分
JR東西線「北新地」駅下車11-5番出口徒歩8分



問い合わせ先 大阪府立江之子島文化芸術創造センター (enoco) / プラットフォーム部門 ((株)E-DESIGN 内 担当: 松浦)
TEL: 06-4964-5151 MAIL: matsuura@edesign-inc.com

主催: ソーシャルエデュケーションプラットフォーム (SEP) 実行委員会
(合同会社ウェルネスオープンリビングラボ (WOLL)、大阪府立江之子島文化芸術創造センター (enoco))

企画・運営協力: 学生ボランティアスタッフ

後援: 大阪府 協力: 特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪



詳しくはこちら